

2016年1月5日

年 頭 所 感

一般社団法人全国高圧ガス容器検査協会

会 長 白 砂 清 一

新年明けましておめでとうございます。

平成 28 年の新春を迎え謹んでお喜びを申し上げます。

エネルギー供給構造の改革が進む状況の下、新年を迎えるにあたり当協会の活動や高圧ガス容器検査の課題、方向性について申し上げます。

昨年は一般高圧ガス容器検査主任者講習会を福岡、名古屋、仙台で実施し、今年 3 月にも東京で開催予定です。同じく 3 月に LP ガス容器検査主任者講習会を東京、大阪で予定しており、今後も様々な講習会等を通して保安活動に積極的に取り組んでいきます。

さて、LP ガスバルク供給システムについては平成 11 年以降急速に普及しており、バルク貯槽 20 年告示検査においては、製造基数の過半数を占める小型バルク貯槽の多くが廃棄されるものと予測されております。そのくず化处理については、貯槽内の残ガス回収が出来る施設の整備や回収した残ガスの再利用等課題があります。当協会ではバルク貯槽くず化要領書をまとめた後に他団体と協議しており、また会員にアンケート調査を行うなど現状の把握にも努めております。バルク貯槽くず化については今後も検討を続けていきます。

圧縮水素自動車燃料装置用容器のくず化处理については、経済産業省と（一社）日本自動車工業会や日本自動車研究所など関係団体と共に安全な処理が出来るよう研究に取り組んでおります。

当協会認定事業者制度の構築については、会員の要望を踏まえ、事業の育成を支援する付加価値として提供できるものにしたいと審議を重ねております。

また、会員向けに賠償責任保険制度や講習会の割引、関連する情報等の発信をしており、今後も更に充実した内容を目指して努めてまいります。

未加入の事業者様には入会をご検討していただけますようお願い申し上げます。

当協会はこれからも高圧ガス業界の発展と安全に向け一層の努力をしてまいります。

今年も皆様には益々のご健勝とご発展を心よりご祈念申し上げます。